

量子技術の最前線と 社会実装の潮流

9月21日(木) 9:00~17:10

今年3月に理化学研究所から国産量子コンピュータ初号機が発表されたのを始めとして、様々な物理系での量子コンピュータのハードウェア開発が加速しています。また量子通信や量子センサなどの量子技術についても活発な研究開発が進んでいます。今後、量子情報技術をどのように社会に実装し、ユーザーの拡大と活用を広げてゆくかは重要な課題です。そこで本シンポジウムでは、量子コンピュータを中心とする量子情報技術の最新研究開発とその社会実装について焦点をあて、こうした取り組みで社会をリードする企業や研究機関の招待講演者の方々に最新動向についてご紹介いただきます。

招待講演者と講演タイトル

寒川 哲臣 (NTT)	量子技術の社会実装に向けた政府戦略およびQ-STARの取り組み
小野寺 民也 (IBM)	Path to Quantum Advantage
Mihir Bhaskar (AWS)	Quantum Networking: AWS perspective and initiatives
佐藤 信太郎 (富士通)	量子コンピューティング実用化に向けた取り組み
堀部 雅弘 (産総研)	量子コンピュータの世界の潮流
河内 哲哉 (QST)	QSTの量子技術基盤拠点の取り組みの全体像と今後の計画・展開
白根 昌之 (NEC)	量子コンピューティング技術の社会実装とハードウェア開発

皆様のご参加をお待ちしております。